

## LEDシアター用ダウンライト 6000 シリーズ

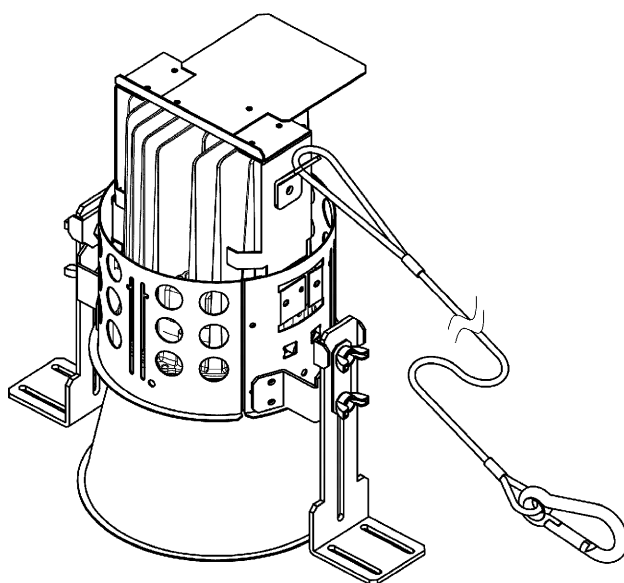
形 名

AL-LED-ON-6-2

AL-LED-ON-6-2S

AL-LED-ON-6-2DS

### 取扱説明書



モデル : AL-LED-ON-6-2

このたびは、東芝LEDシアター用ダウンライトをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。  
この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

**東芝ライテック株式会社**

## 目 次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 特 長 .....           | 1  |
| 2. 警告表示内容の説明 .....     | 1  |
| 3. 安全にお使いいただくために ..... | 2  |
| 4. 本体表示銘板と表示内容 .....   | 4  |
| 5. 各部の名称と使用方法 .....    | 5  |
| 6. 点検と修理 .....         | 14 |
| 7. 仕様一覧 .....          | 15 |

## 1. 特 長

- ・天井部に取り付けて使用する埋込み専用の器具です。
- ・新開発の高輝度LEDモジュールを光源とする、低電力・低発熱のダウンライトです
- ・平均演色評価数 Ra 90 となる高演色を実現しました。
- ・J A T E T Aカーブに準拠した0～100%のなめらかな調光を実現しました。

## 2. 警告表示内容の説明

器具本体および取扱説明書に警告表示をしています。器具の使用前に警告内容を必ず確認のうえ安全にご使用ください。

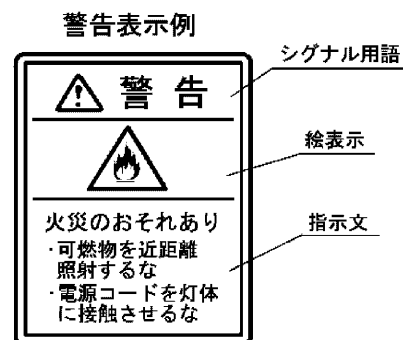
### シグナル用語の意味

#### ⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

#### ⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。



### 3. 安全にお使いいただくために

## 警告

-  ● 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。  
一般用照明器具として使用する製品ではありません。
-  ● この器具は必ず同梱の専用電源ユニットと組み合わせて使用してください。
-  ● 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示および取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。
-  ● 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示および取扱説明書に従って十分な距離をとってください。指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。
-  ● 移動・取付を行う場合は衝撃を与えないでください。  
器具の破損の原因となります。
-  ● 器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。  
接触していると火災の原因となります。
-  ● 器具の点灯中および消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。  
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
-  ● 器具を分解したり改造しないでください。  
故障・感電・火災の原因となります。
-  ● 煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。
-  ● 異常時にはすぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。  
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。
-  ● 取付金具などの可動部を操作するときは可動部内（取付金具と灯体との間など）に手を差し込まないでください。取付金具と灯体の間に手を挟み、器具の破損・けがの原因となります。
-  ● 本器具は精密機器です。衝撃を与えないでください。  
故障の原因となる可能性があります。必ず手で操作を行ってください。
-  ● ハロゲン器具などと同時に使用する場合は、本器具から十分に遠ざけてください。  
熱により破損・溶解の原因となります。
-  ● アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。  
アースが不完全な場合には、感電の原因になります。（D種(第三種)接地工事）
-  ● この器具は断熱施工不可です。断熱材・防音材で覆わないでください。  
火災の原因となります。



-  ● 電源ユニットを重ね設置すると電源ユニットの放熱により過熱状態になり、機器の破損・火災の原因となります。

## 注 意

### 1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。  
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。  
破損・変形・火災とLEDのフリッカ・不点灯の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。  
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。
- 腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。故障・短寿命の原因となります。

### 2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。  
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟練者だけの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
- 据付施工は主任電気工事士の管理のもと行ってください。  
なお、電線相互を接続する作業は電気工事の有資格者が行ってください。
- 器具の取付・設置に方向性があります。本体表示および取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置には、器具本体の落下防止ワイヤーを取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
確実に取付けないと取付金具の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

### 3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。  
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要ときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟練者だけの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。  
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。

### 4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟練者だけの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付けに方向性があります。本体表示および取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付には、器具本体の落下防止ワイヤーを取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
確実に取付けしないと取付金具の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が点検を行ってください。未熟練者だけの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。

### 5. 保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。
- 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電することがあります。
- 電源コード・接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・火災の原因となることがあります。
- 器具のネジ類は、振動等で緩む場合があります。取扱説明書に基づき処置をしてください。  
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないで、清掃してください。火災の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。  
器具の機能劣化・感電・火災の原因となります。

### 6. 保管時について

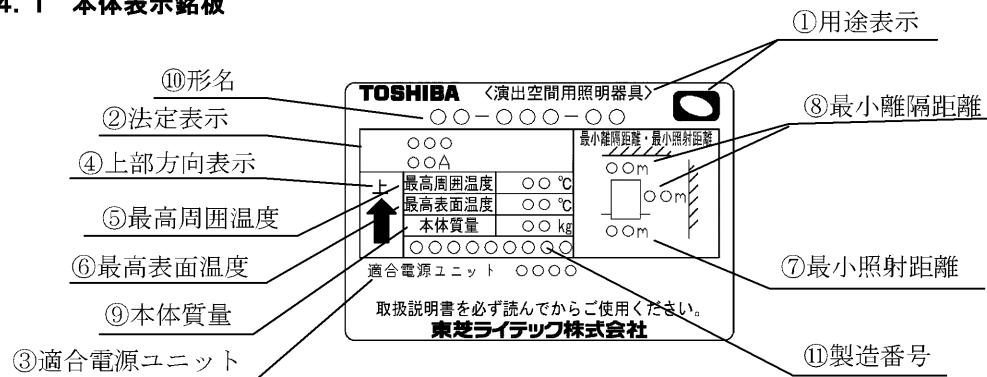
- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。感電・火災の原因となるおそれがあります。

## 4. 本体表示銘板と表示内容

照明器具の本体に下記の銘板が表示してあります。

取扱時には、必ず内容を確認のうえ、安全にご使用ください。

### 4.1 本体表示銘板



### 4.2 表示内容

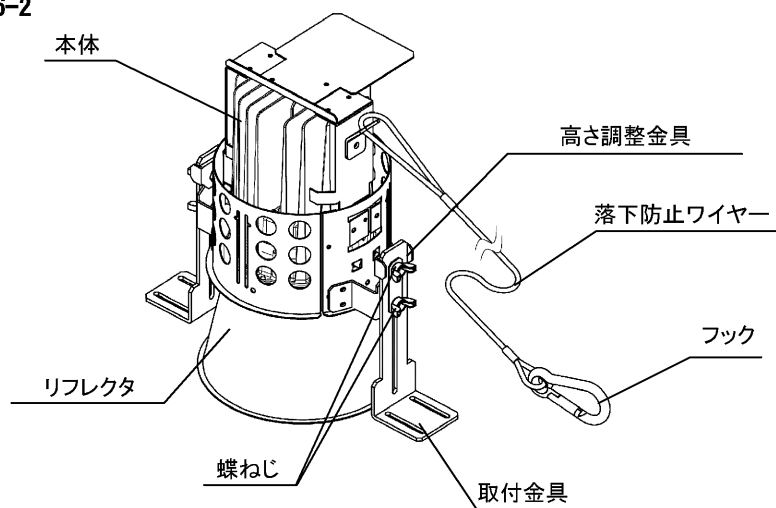
- ① 用途表示：「演出空間用照明器具」であることを表しています。  
演出空間の用途以外では使用しないでください。
- ② 法定表示：電気用品安全法の規定による「製造事業者名」「定格」を表示しています。
- ③ 適合電源ユニット：適合する電源ユニットの型名を表示しています。  
適合電源ユニット以外は使用しないでください。
- ④ 上部方向表示：照明器具の上方向を表示しています。  
必ず矢印の方向を上にして取付けてください。
- ⑤ 最高周囲温度：通常の使用状態で連続動作させてもよい最高周囲温度を表示しています。
- ⑥ 最高表面温度：使用角度範囲において連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
- ⑦ 最小照射距離：通常の使用状態で連続点灯させたとき、被照射対象物（黒色ボード）の温度が90℃に達する最小距離を表示しています。
- ⑧ 最小離隔距離：通常の使用状態で連続点灯させたとき、可燃物（黒色ボード）の温度が90℃に達する最小距離を表示しています。
- ⑨ 本体質量：ハンガーその他付属品を含まない照明器具本体質量を表示しています。
- ⑩ 形名：モデル番号（形名）を表示しています。
- ⑪ 製造番号：製造年と製造番号等を略号で表示しています。

## 5. 各部の名称と使用方法

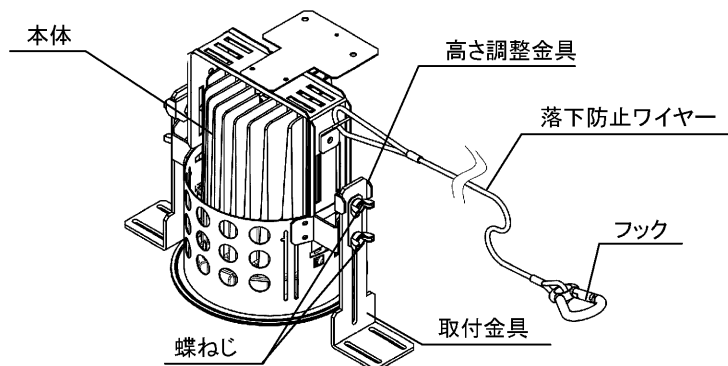
### 5.1 各部の名称

#### (1) 灯具

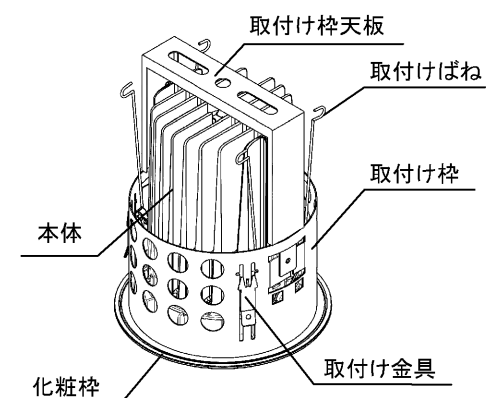
##### ①AL-LED-ON-6-2



##### ②AL-LED-ON-6-2S

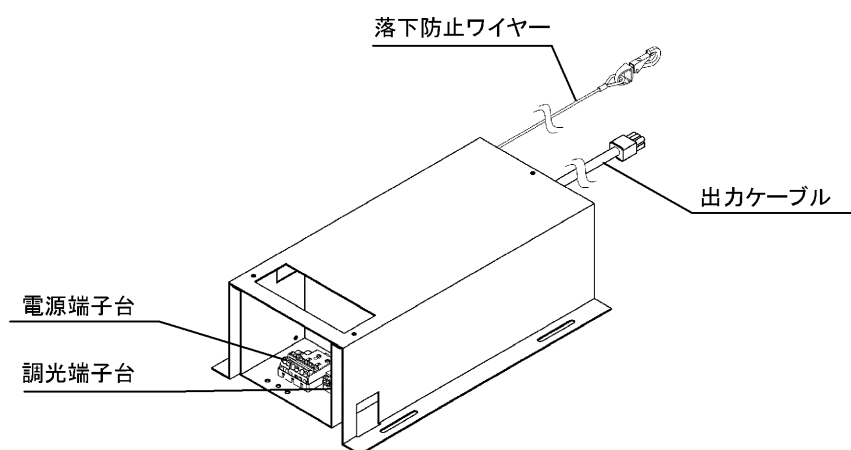


##### ③AL-LED-ON-6-2DS

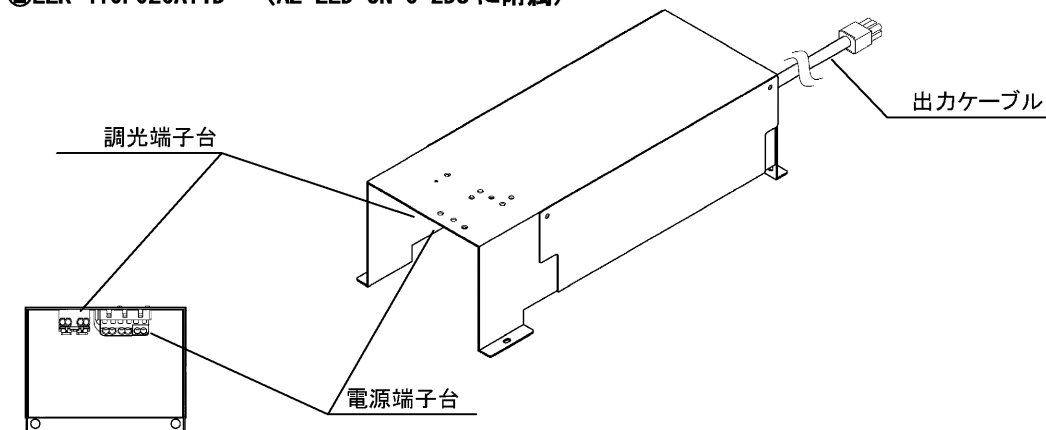


## (2) 電源ユニット

### ① LEK-410P026A09D (AL-LED-ON-6-2、AL-LED-ON-6-2S に附属)

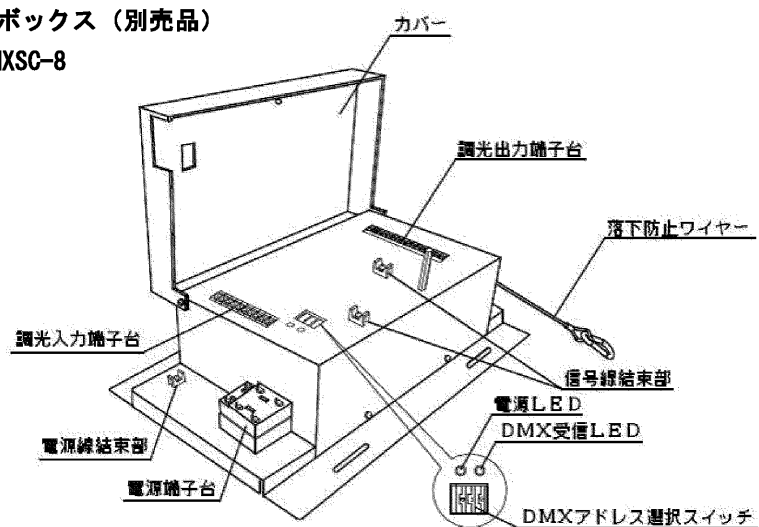


### ② LEK-410P026A11D (AL-LED-ON-6-2DS に附属)



## (3) DMX/PWM 変換ボックス (別売品)

### AL-LED-ON-DMXSC-8



## 5.2 入力電源についてのご注意



### 注 意

- ・直電源を使用してください。調光器の出力（ノンディム出力含む）を電源として使用することはできません。調光出力（ノンディム出力を含む）で点灯させた場合、調光器が誤動作することがあります。また、調光器・器具の故障の原因となる可能性があります。

## 5.3 器具の取付方法

### ⚠ 注 意

- ・据付施工は、専門の施工業者が行ってください。未熟練者だけの対応は、間違いの原因になることがあります。

### ⚠ 注 意

- ・灯体と電源ボックスは70mm以上離して取付けてください。

### (1) 器具の埋め込み穴

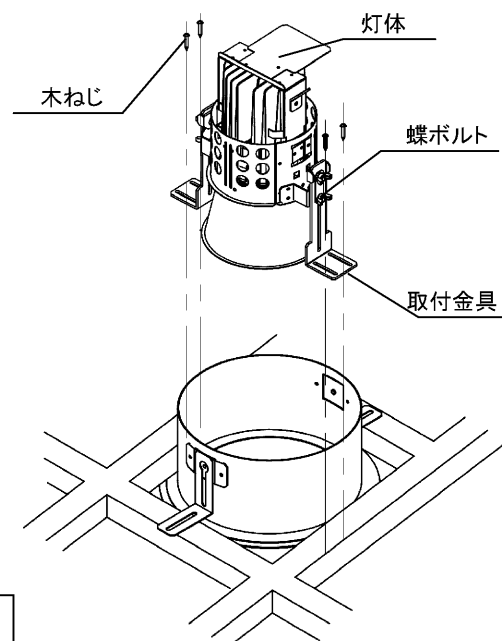
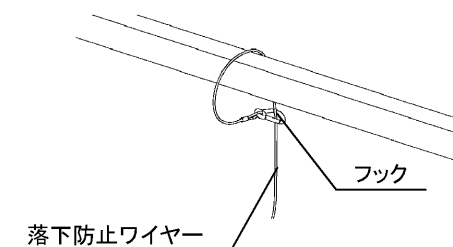
- ①天井板に埋め込み穴（AL-LED-ON-6-2、AL-LED-ON-6-2Sは $\phi 200 \pm 2$ mm、AL-LED-ON-6-2DSは $\phi 150 \pm 2$ mm）をあけてください。
  - ②取り付け前に器具質量や操作に耐えられるよう、当て木・補強材をつけるなど、取付け部の強度を確保してください。
- ※取り付け可能天井厚は  
AL-LED-ON-6-2、AL-LED-ON-6-2Sは、20mm～95mm  
AL-LED-ON-6-2DSは、5mm～25mmです。

※埋め込み穴をあける際は専用の工具を用いてあけてください。

### (2) 灯具

#### ①AL-LED-ON-6-2、AL-LED-ON-6-2S

- (i) 灯体と取付金具を蝶ボルトで仮止めし、取付位置を決めてください。
- (ii) 取付金具を当て木に付属の木ねじ4本で固定してください。
- (iii) 取付高さが決まったら、灯体が回転しないよう蝶ボルト4本を確実に絞めてください。
- (iv) 落下防止ワイヤーを鉄骨等に巻き付け、フックをワイヤーに取り付けてください。



モデル：AL-LED-ON-6-2



### 注 意

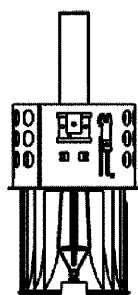
一度でも器具を落下させ、ワイヤーが機能を果たした場合、必ずその落下防止ワイヤーは交換してください。屈曲、素線断線等、ワイヤーに異常がある場合も交換してください。



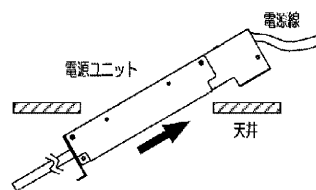
## ②AL-LED-ON-6-2DS

### ●取付金具で固定する場合

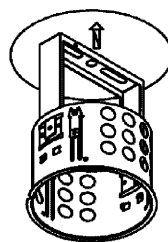
- (i) 本体を取付け枠からはずしてください。(図1)
- (ii) 電源ユニットに電源線および、調光信号線を接続し、埋込み穴から斜めに挿入し設置してください。(図2)
- (iii) 取付け枠を埋込み穴に挿入し、取付け金具3ヶ所で固定してください。(図3)  
※珪酸カルシウム板の天井に取り付ける場合は取付け金具と天井の間に補強材を入れてください。(図4)
- 天井の厚みが12mm未満の場合は「●吊りボルトで固定する場合」に従って、吊りボルトおよび、取付け金具で固定してください。
- (iv) 取付け枠に付いている落下防止ひものもう一方のフックを本体落下防止取付穴へ引っ掛け工具にてかしめてください。(図5)
- (v) コネクタカバーのねじを緩めフタを取りはずし、出力ケーブルのコネクタを確実に接続し、ケーブル押さえで出力ケーブルを固定し、コネクタカバーにフタを取り付けてください。(図6)
- (vi) 本体の取付けばねを取付け枠の切り起こし部にひっかけてまっすぐにゆっくりと押し上げ、確実に取り付けてください。(図7)



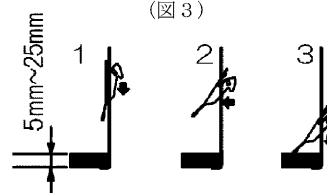
(図1)



(図2)

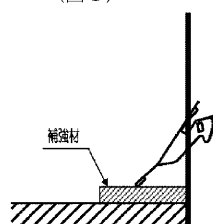


(図3)

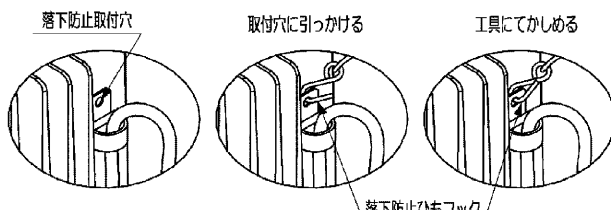


取付け穴に引っかける

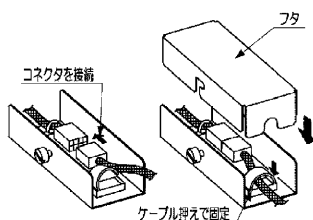
工具にてかしめる



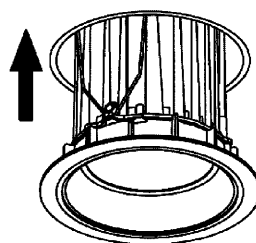
(図4)



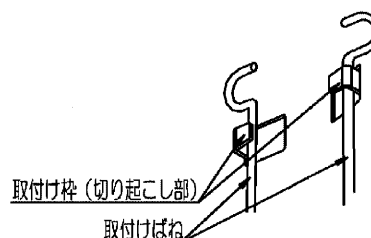
(図5)



(図6)



(図7-①)



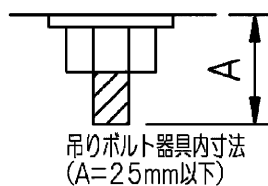
(図7-②)

●吊りボルトで固定する場合

- (i) あらかじめ吊りボルト・ナットを用意してください。
- (ii) 吊りボルトを取付け枠中央に取り付けてください。

注) 吊りボルトの器具内寸法(A寸法)は25mmを超えないようにしてください。(図8)

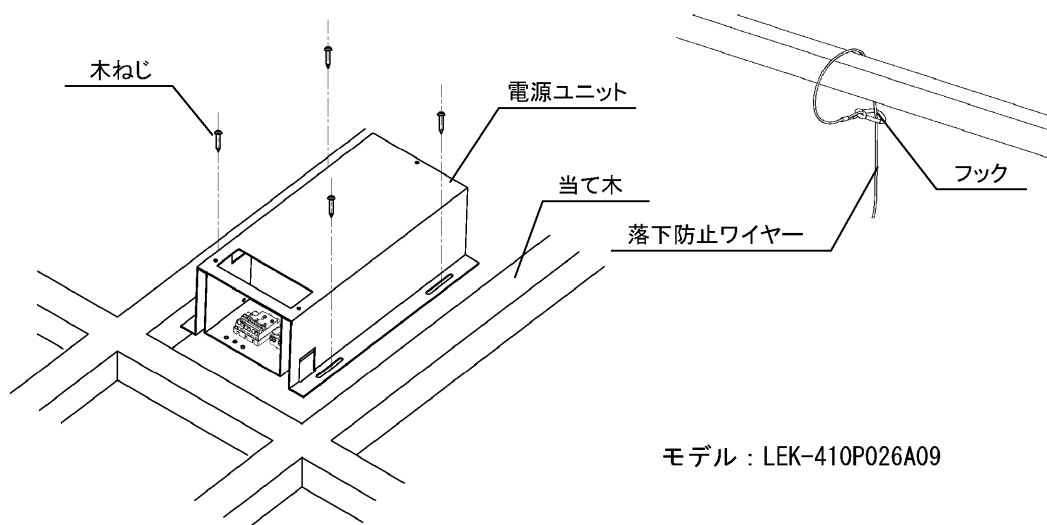
- (iii) 器具内に電源線を引き込み、吊りボルトと取付け枠の吊りボルト用穴の位置を合わせ、取付け枠を埋込み穴に押し込み、取付け金具で固定してからナットで固定してください。固定に不備がありますと器具落下の原因となります。
- (iv) 「●取付金具で固定する場合」の(iv)、(v)、(vi)に従って器具を取り付けてください。



(図8)

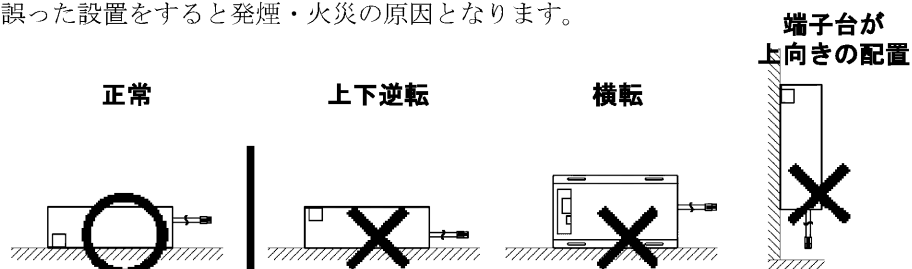
(3) 電源ユニット

- ① 電源ユニットを当て木に附属の木ねじ4本で固定してください。
- ② 落下防止ワイヤーを鉄骨等に巻き、フックをワイヤーに取り付けてください。



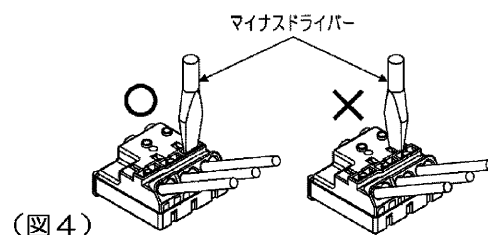
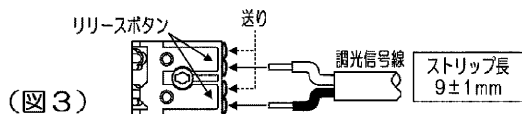
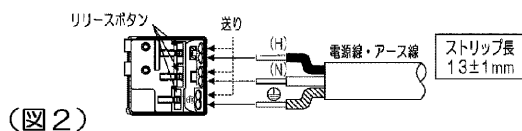
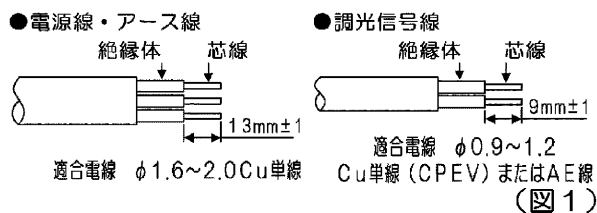
⚠ 注意

電源ユニットの取付けには方向性があります。  
誤った設置をすると発煙・火災の原因となります。



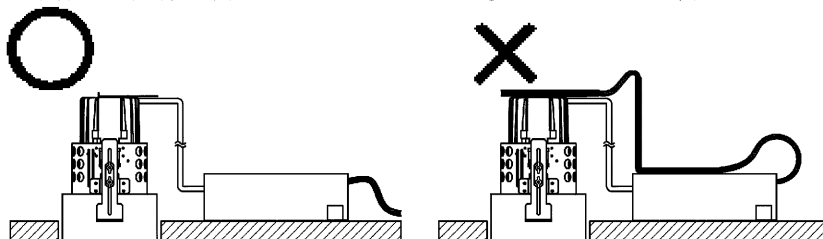
#### 5.4 配線方法

1. 電源線・調光信号線の被覆を(図1)のようにストリップしてください。  
※棒端子は使用しないでください。
2. 電源線を(図2)のように確実に電源ユニットの電源端子台の奥まで差し込んでください。適合電線  $\phi 1.6 \sim 2.0$  Cu 単線  
※電源端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじったりした状態で差し込まないでください。感電・火災の原因となります。  
※送り容量は 15A 以下で使用してください。  
※端子台に張力がかからないように電源線を施工してください。
3. 調光信号線を調光端子台に接続してください。  
※誤結線は故障の原因となります。電源線 (AC100~242V) を調光端子台に接続しないでください。
4. 電源線を引き抜く際は、必ず電源を切り、(図4)のようにリリースボタンをマイナスドライバーでまっすぐ押し込んで引き抜いてください。  
リリースボタン以外を押すと、感電・故障の原因となります。  
※使用工具は、先端が 6~7 mm の電工マイナスドライバーを使用してください。  
これ以外の工具を使用した場合、リリースボタンが正常に動かなくなり、電源線の解除ができなくなる恐れがあります。  
※絶対に電線を回転させて無理に引き抜かないでください。接触不良の原因となります。
5. 調光信号線を引き抜く際は、必ず電源を切り、リリースボタンを押しながら引き抜いてください。
6. 電源ユニットの出力ケーブルと本体をコネクタで確実に接続し、ケーブル押えて出力ケーブルを固定してください。



#### ⚠ 注意

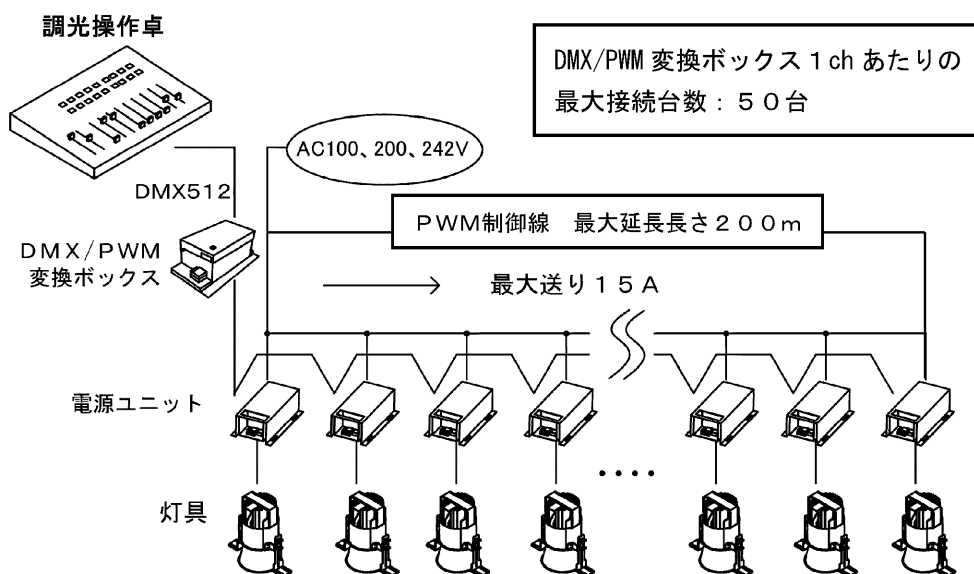
器具本体に電源線を接触させないでください。感電・火災の原因となります。



## 6. システム

### ⚠ 警告

- ・システム設計が必要になりますので、お問い合わせください。
- ・照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。
- ・L-N一括対アース間配線の絶縁抵抗を測定する場合、機器を外して測定してください。

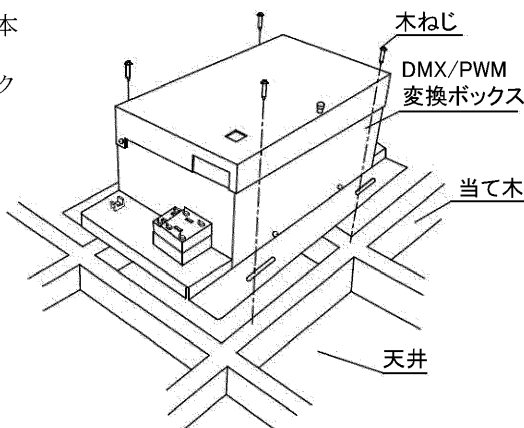


### ⚠ 注意

- ・専用制御装置(DMX/PWM 変換ボックス)以外には使用できません。  
必ず適合 DMX/PWM 変換ボックス AL-ON-DMXSC-8 をご使用ください。
- ・調光制御機器から電源ユニットまでの距離によっては、調光動作にばらつきが出る場合があります。
- ・組み合わせる調光制御機器や使用環境によって、複数の器具を1つのDMX/PWM 変換ボックスで制御する場合に個々の消灯のタイミングが異なることがあります。

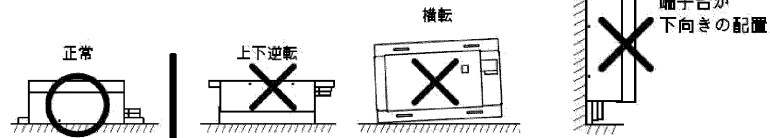
### (1) DMX/PWM変換ボックス(別売品)の設置方法

- ①DMX/PWM 変換ボックスを付属の木ねじ4本で当て木に固定してください。
- ②落下防止ワイヤーを鉄骨等に巻き、フックをワイヤーに取付けてください。



## ⚠ 注意

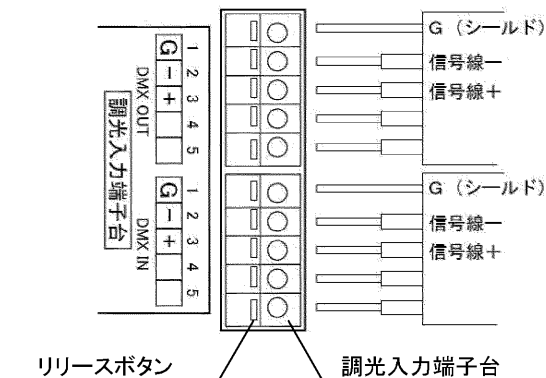
DMX/PWM 変換ボックスの取付けには方向性があります。  
誤った設置をすると発煙・火災の原因となります。



### (2) DMX/PWM 変換ボックスの配線方法

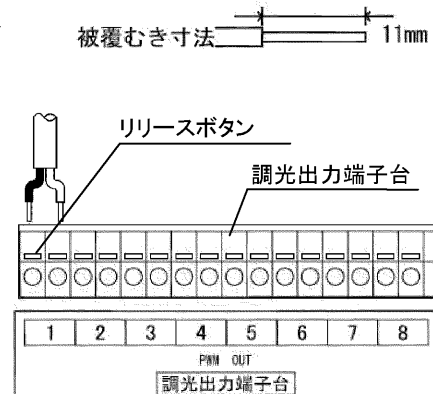
#### ① DMX の接続

- DMX 線の被覆を右図のようにストリップして 被覆むき寸法 11mm ください。
- DMX 線を調光入力端子台の奥まで確実に差し込んでください。
- DMX 線を引き抜く場合は、必ず電源を切り、リリースボタンをマイナスインプラーでまっすぐ押し込んで DMX 線を引き抜いてください。



#### ② 調光信号線の接続

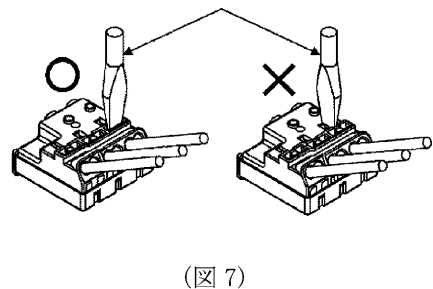
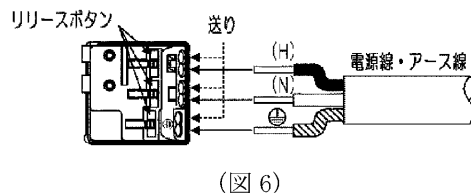
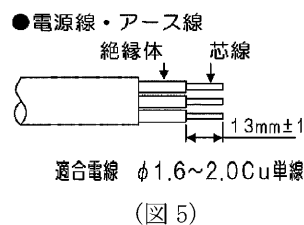
- 調光信号線の被覆を右図のようにストリップして 被覆むき寸法 11mm ください。
  - 適合電線  $\phi 0.9 \sim 1.2$   
Cu 単線 (CPEV) または AE 線
  - 調光信号線を調光出力端子台の奥まで確実に差し込んでください。
  - DMX 線を引き抜く場合は、必ず電源を切り、リリースボタンをマイナスインプラーでまっすぐ押し込んで DMX 線を引き抜いてください。
- ※シアター用ダウンライトの灯具側の配線は 5.4 配線方法を参照ください。



DMX 線と調光信号線の接続後、信号線結線部を用い、電線を結線してください。

### ③電源線の接続

- ・電源線の被覆を（図 5）のようにストリップしてください。  
適合電線  $\phi 1.6 \sim 2.0$  Cu 単線
- ・電源線を右図のように確実に電源端子台の奥まで差し込んでください。  
※電源端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじったりした状態で差し込まないでください。  
※送り容量は 15A 以下で使用してください。  
※端子台に張力がかからないように電源線を施工してください。
- ・電源線を引き抜く場合は、必ず電源を切り、リリースボタンをマイナスドライバーでまっすぐ押し込んで電源線を引き抜いてください。リリースボタン以外を押すと、感電・故障の原因となります。  
※使用工具は、先端が 6~7mm の電工マイナスドライバーを使用してください。  
これ以外の工具を使用した場合、リリースボタンが正常に動かなくなり、電源線の解除ができなくなる恐れがあります。
- ※絶対に電線を回転させて無理に引き抜かないでください。  
接触不良の原因となります。



### (3) DMX アドレスの設定

- ①DMX/PWM 変換ボックスに通電されていない状態で、DMX アドレス選択スイッチを任意の番号に設定してください。  
設定した番号を先頭として、最大 8 チャンネルの調光制御が行えます。  
※DMX アドレスは 1~512 の間で設定してください。
- ②DMX/PWM 変換ボックスの電源を入れてください。電源 LED (赤) が点灯します。
- ③正常に DMX 信号を受信すると、DMX 受信 LED (緑) が点滅します。

※DMX アドレスを変更した場合は、電源を再投入してください。  
※DMX 信号が途絶えた場合は、直前の点灯状態を維持します。再度 DMX 信号を受信すると、点灯状態維持を解除します。  
※DMX/PWM 変換ボックスが通電されていない状態または、シアター用ダウンライトと DMX/PWM 変換ボックスの調光信号線が接続されていない状態で、シアター用ダウンライトの電源を入れると、調光レベル FULL の状態で点灯します。

## 6. 点検と修理

### 6.1 日常点検、整備のお勧め

器具本体の耐用年数は、設置環境、取扱状態、保守管理状態によって異なります。

下記の点検項目に沿った内容で保守点検と、正しい維持管理を行ってください。

なお、補修部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。

- (1) お買い求めいただいた照明器具の性能を末長く維持し、安全を確保するために、下記の日常点検チェックリストに基づき点検および処置をしてください。
- (2) 日常点検チェックリストおよび処置

| 分 類      | 点検項目                   | 日常整備 |    |    | 弊社依頼 |
|----------|------------------------|------|----|----|------|
|          |                        | 増締め  | 清掃 | 交換 | 修理   |
| 灯 具      | 異常変形・損傷はないか。           |      |    |    | ○    |
|          | ネジ類に緩みはないか。            | ○    |    |    |      |
|          | 灯具内に埃や紙吹雪はないか。         |      | ○  |    |      |
|          | リフレクタに汚れはないか。          |      | ○  |    |      |
|          | リフレクタに破損、変形はないか。       |      |    |    | ○    |
| 電源ユニット   | 異常変形・損傷はないか。           |      |    |    | ○    |
|          | ネジ類に緩みはないか。            | ○    |    |    |      |
|          | コネクタに変色・亀裂・変形はないか。     |      |    |    | ○    |
|          | 端子台に変色・亀裂・変形はないか。      |      |    |    | ○    |
|          | 接続電線に変色・損傷はないか。        |      |    |    | ○    |
| 落下防止ワイヤー | ワイヤーに損傷はないか。           |      |    |    | ○    |
|          | 落下防止受け金具に損傷はないか。       |      |    |    | ○    |
| 絶縁抵抗     | 漏電していないか。(※絶縁抵抗 5MΩ以上) |      |    |    | ○    |

### 6.2 定期点検のお勧め

- (1) 使用期間における経年変化または、ご使用の状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお勧めします。
- (2) 定期点検は、弊社との保守点検契約をお勧めいたします。  
点検内容、点検周期は、保守点検契約に基づいて実施いたします。

### 6.3 修 理

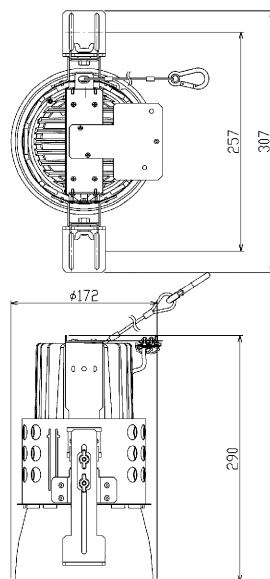
- (1) 修理の判断  
前記日常点検チェックリストに基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、およびその他の異常がある場合は修理依頼をしてください。
- (2) 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- (3) 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- (4) 修理は弊社にお問い合わせください。
- (5) 補修部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。

## 7. 仕様一覧

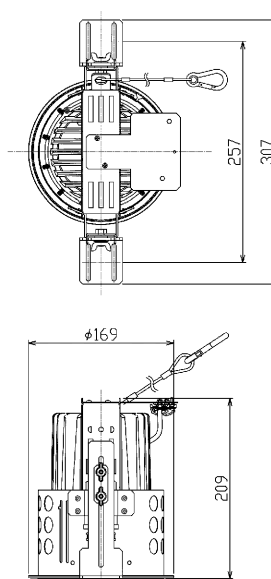
| 灯具         |                                                                                                         |                |                 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------------|
| 形名         | AL-LED-ON-6-2                                                                                           | AL-LED-ON-6-2S | AL-LED-ON-6-2DS |
| 最高表面温度(°C) | 77                                                                                                      | 82.5           | 83              |
| 最小照射距離(m)  | 0.1                                                                                                     |                |                 |
| 最小離隔距離(m)  | 0.1                                                                                                     |                |                 |
| 質量(kg)     | 3.1                                                                                                     | 3.1            | 2.6             |
| 材質         | ADC(アルミダイカスト)、SPC(鋼板)、SGC(溶融亜鉛めっき鋼板)、PBT樹脂、PC(ポリカーボネート樹脂)、PA(ポリアミド樹脂)、SWP(ピアノ線)、SUS(ステンレス鋼)、AIP(アルミニウム) |                |                 |
| 外装         | アクリル焼付塗装(バージンホワイト)、亜鉛めっき                                                                                |                |                 |
| 別売品        | DMX/PWM変換ボックス AL-ON-DMXSC-8                                                                             |                |                 |

| 電源ユニット    |                                        |                 |       |
|-----------|----------------------------------------|-----------------|-------|
| 形名        | LEK-410P026A09D                        | LEK-410P026A11D |       |
| 入力電圧(V)   | AC100                                  | AC200           | AC242 |
| 定格消費電力(W) | 93                                     | 90.3            | 90.1  |
| 電源周波数(Hz) | 50/60                                  |                 |       |
| 質量(kg)    | 2.3                                    | 1.5             |       |
| 材質        | PA(ポリアミド樹脂)、SGC(溶融亜鉛めっき鋼板)、SUS(ステンレス鋼) |                 |       |
| 外装        | 亜鉛めっき                                  |                 |       |

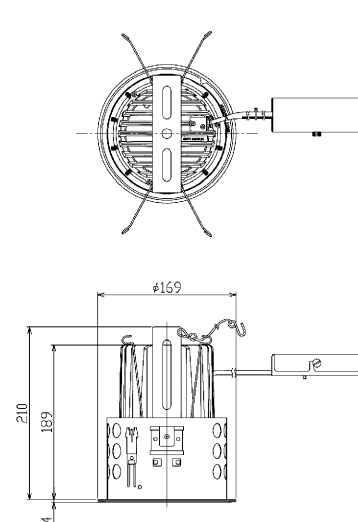
- ・本仕様は弊社の標準仕様を表しています。
- ・交換部品・消耗部品は弊社の純正部品をお使いください。
- ・LED素子にはバラツキがあり、同一の形名においても光色、明るさが異なることがあります。



AL-LED-ON-6-2

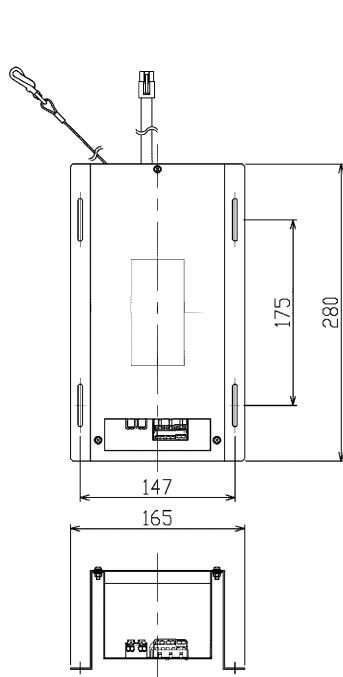


AL-LED-ON-6-2S

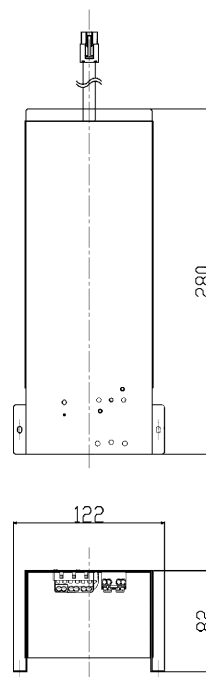


AL-LED-ON-6-2DS





LEK-410P026A09D



LEK-410P026A11D

\*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

#### 保証について

・保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置は3年間です。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償修理させていただきます。

・ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外です。

※保証の例外

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

#### 保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (2) お買上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
- (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
- (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
- (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷

2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

#### 修理を依頼されるとき

・保証期間中は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げ販売店（工事店）までお申し出ください。

・保証期間を過ぎている時は、お買上げ販売店（工事店）にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買上げ販売店（工事店）にお問い合わせください。その際は器具の形名、お買上げ時期をお忘れなくお知らせください。

#### 修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談できない場合は、下記の窓口へ

#### 東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料:無料)

受付時間: 365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料:無料)

FAX 0570-000-661 (通話料:無料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

日本国内専用  
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

システム事業部 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34  
TEL (044)331-7547 FAX (044)548-9608

お読みになったあとも必ず保存してください。

0034120A